

★シラバス(学習の手引き)★

令和 5 年度版

Abashiri Kaiyo High School

教科	地理歴史科	学科	普通科	学年	2	年	選択科目
科目	地理探究			単位数	2	単位	
使用教科書	新詳地理探究(帝国書院)		副教材	新詳高等地図(帝国書院)			

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力	◎	傾聴力		課題解決能力	○
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	○	コミュニケーション能力	
	基礎的読解力		創造力	○	洞察力		継続力		行動力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)		自己肯定感	
学習の到達目標	・世界の空間的な諸事象の規則性や傾向性などを理解する。									
	・地図や地理情報システムなどを用いて、さまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。									
	・地理に関わる事象を系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。									
	・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。									

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準 自然環境			
①知識・技能		②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。		地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・ワークシート		★何で評価するか ・定期考査 ・ワークシート	★何で評価するか ・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート

【学習計画】		
月	単元	学習の目標(評価の観点:評価方法)
4	・ガイダンス ・地形	地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて理解している。地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
5		
6	・気候	気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。気温や降水量、風などを要素とする気候の違いは、どのような要因で生まれ、人々の生活にどのような影響を与えているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
7	・日本の自然環境 ・地球環境問題	日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり、自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 さまざまな地球環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。

★単元ごとの評価規準 資源と産業			★8月～10月までの学習内容					
①知識・技能			②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度		
資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。			資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。			資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		
★何で評価するか			★何で評価するか			★何で評価するか		
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート			・定期考査 ・ワークシート			・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート		
8	・農林水産業		自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 食料の分配の世界的な偏りや、飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。					
	・食料問題							
9	・エネルギー・鉱産資源		世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや、資源がどのように生活や産業に利用されているか、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。今後、資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要かについて、多面的・多角的に考察し、表現している。					
	・資源・エネルギー問題							

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

自己評価	実際評価
観点	観点
① ② ③	① ② ③

10	・工業 ・第3次産業	工業はどのように発展し、現在はどうな工業分野や地域が中心となっているかについて理解している。 経済が発展し、物やサービスへの需要が高まったため、主力の産業となった第3次産業の現状はどのようにになっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
----	---------------	---

★単元ごとの評価規準 交通・通信と観光、貿易		★11月～12月までの学習内容
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

11	・交通・通信 ・観光	社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。 拡大が続いている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
12	・貿易と経済圏	

★単元ごとの評価規準 人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教		★1月～3月までの学習内容
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。また、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	人口、村落・都市、生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか
・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・振り返りシート

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

1	・人口 ・人口問題	増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
2	・村落と都市 ・都市・居住問題	村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。
3	・衣食住 ・民族・宗教と民族問題 ・国家の領域と領土問題	伝統的な衣食住の傾向、世界的な画一化の動きについて理解している。世界のさまざまな言語や宗教の独自性、民族問題の背景について理解している。国家の領域はさまざまな境界線で区別されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。

★最終評価総括(自己評価/実際評価)

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度

自己評価総括 実際評価総括

①	②	③	①	②	③

◎前期振り返り	◎後期振り返り	▶備考